

書名：ビロードのうさぎ

原作：マージェリィ・W・ビアンコ

絵・抄訳：酒井駒子

出版社：ブロンズ新社

出版年月：2007年4月

総ページ数：表記なし

ISBN：9784893094087



推薦者

鈴木久人

鳴門教育大学大学院教授
芸術系コース（美術）

～たいせつなきみへ～

これ、あたらしい えほんだよ。『ビロードのうさぎ』っていうんだ。きいろいひょうしがきれいでしょ。イギリス人のマージェリィ・ダブリュ・ビアンコっていう人がかいたご本をさかいこまこって人がショウヤク¹して、えもつけたんだ。あつ、ショウヤクはむずがしいことばだね。もとのおはなしの一ぶをぬきだして、にほんごにしたんだよ。ぼうやへのクリスマスプレゼントのビロードでできたうさぎのおはなしだよ。ある日、うさぎのおもちゃはやさしくしてくれるウマのおもちゃから「ここからたいせつにだいじにおもわれたおもちゃはほんとうのものになる。」²とおそわるんだ。そうだよ。おもちゃにもころがあるんだ。ブリーチのコンにだってころがあるでしょ。うさぎのおもちゃはそれはそれはぼうやにだいじにされ、ほんとうのものになったとおもったんだ。でもある日ぼうやがびょうきになるんだ。じかんはかかったけどぼうやはげんきになるんだ。しかしおいしゃさまのしじでおもちゃはぜんぶもやされることになるんだよ。うさぎのおもちゃはなみだをながすんだ。そしたらたいへんなことがおこるんだよ。ここからさきはよんでみてね。けっしてこわいおはなしじゃないからね。

おはなしもおもしろいけどさかいこまこさんのさしえがうつくしいんだ。じかんがとまったような、ゆっくりながれるようなせんさいでどこかさみしげなえなんだ。ビロードのうさぎのひょうじょうにはへんかはないのにおもちゃばこにほうりこまれたときはさみしげにみえ、ぼうやとあそぶときはたのしげにみえ、のうさぎにかこまれたときはとまどっているようにみえるふしぎですばらしいさしえなんだよ。ぜひこのすばらしいえをたのしんでくださいね。

たいせつなきみへさいごにおねがいがあるんだ。このおはなしはしあわせなおはなしなのかな？ かなしいおはなしなのかな？ きみにかんがえてみてほしいんだ。おねがいね。

¹ 抄訳

² マージェリィ・W・ビアンコ（原作）、酒井駒子（絵・抄訳）、『ビロードのうさぎ』、ブロンズ新社、2007、ページ表記なし

